

光兎の宿あらかわ荘お月見月間 9.1~10.31

9月中旬~10月初旬にかけては十五夜にはじまり、兎と関わりの深い月を愛でる夜が多々ございます

当館の光兎達の数が一番多くなるのもこの時期です🐰是非この機会にお月様と兎に会いにいらしてください

今年の十五夜は「9月17日」です

- **ご夕食時に利用できるドリンク券を人数分ご進呈(有料のお子様以上)**
ソフトドリンク・グラス生ビール・グラスサワー各種
- **貸切風呂「紫陽花の湯」又は「兎っ兎の湯」のご利用が半額**
一回 50分利用 15:00~21:00(要予約)
※すでに半額クーポンを取得済の場合は無料でご利用いただけます
- LINEでお友達登録いただいているお客様には粗品をご進呈



月間中は夜間の照明をできるだけ落としております。

フロントにてキャンドルライトの貸し出しがございますので、ご利用の上、月夜をお楽しみくださいませ。

中秋の明月とは、旧暦 8 月 15 日の夕方に出る月のこと。

旧暦は月の動きに基づいているので、月の形を見れば日付が分かるようになっています。

新月の日が 1 日、満月の日が 15 日。満月を表す「十五夜」という言葉はここから生まれています。

秋分のころ(9 月 23 日前後)の満月は、だいたい 18 時ごろに上がってきます。ちょうど日没と入れ替わりですね。

中秋の名月は、1 年のうち 1 日だけを指します。中秋とは、「秋の真ん中の日」という意味です。

この日に月を観賞する習慣は、平安時代に中国から伝わり秋の収穫物を供えて実りに感謝する行事となっていました。

十三夜(じゅうさんや)とは、旧暦 9 月 13 日の夜のこと。2024 年は、10 月 15 日(火)です。

この日は満月の少し前で、不完全な形がむしろ好まれ、中秋の名月に次いで風情のあるものだとか。「後(のち)の月」「後(あと)の月見」とも呼ばれます。

中秋の名月は、採れたての里芋を供えたことから芋名月(いもめいげつ)と呼ぶのに対して、十三夜は豆名月、栗名月とも呼ばれます。

また、十日夜(とおかんや)とは、旧暦 10 月 10 日に行われる行事のこと。2024 年は、11 月 10 日(日)です。

稲刈りが終わって田の神様が山へ帰っていくのを見送る行事。

ちなみに、十五夜・十三夜・十日夜の「三月見」がすべて晴れると、縁起が良いそうですよ。

